

# 市民学芸員 REPORT

創刊号

大東市立歴史民俗資料館  
市民学芸員  
2010年  
12月1日発行  
創刊号  
編集責任者 中西昭治  
事務局 大西京子  
TEL 072-873-3521

## そこに山があり 川が流れていた

私が大東市を好きになつた理由

市民学芸員REPORT創刊号のトップは為則泰明さんへのインタビューです。題して「わたしは市民学芸員」。

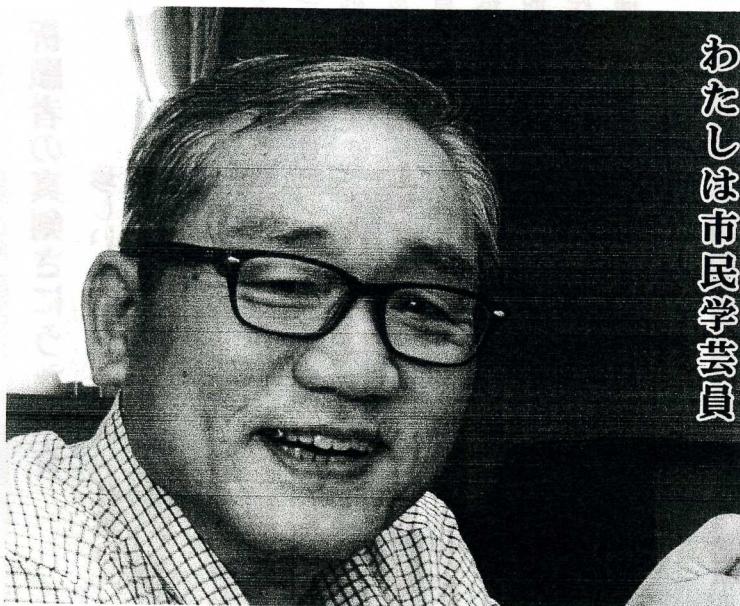
・大東市にはいつごろからお住まいですか。

3年ほど前からです。前は大阪の住之江区でした。住まいは、鉄筋コンクリートだらけの団地でした。あのあたりでもいろんな講座はあつたでしょうが、仕事をしていく受けたことはなかつたです。

・それで、なぜ大東に?

たまたまです。来て見て最初に、家のすぐ近くに水路や川があり感動しました。ふとしたところに小さな水路があり、身近な所に川が流れているのです。あまりきれいではなかったですが。また山が近いですし、何よりも飯盛山に歩いていけるというのが魅力でした。引越ししてきたときは自転車で市内を一巡しました。

### わたしは市民学芸員



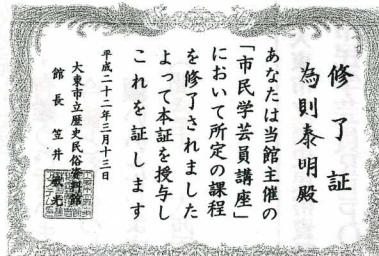
大いに語る為則泰明さん（南新田在住）。

最初のうちは馴れない聞き役に戸惑われがちでしたが、すぐにご覧のとおりの雰囲気でお話がはずみました。

まだまだ絵馬の歴史などの理解はできておりません。これからです。ただ絵馬の借用、取り外し作業などは、前職で

・今回の調査や借用作業に関してみていかがですか？

（次頁につづく）



今年5月から本格的に始動し、特別展にむけ神社や

と、特に笠井館長のお話を聴いていて、歴史って深くおもしろいと思ったし、知らないことがどんどんわかつてきて、楽しめた。

ルイス・フロイスの「日本史」にも出てくる堺から飯盛への移動ルートも気になります。どこから船に乗り込んで、どこで降りたかをたどってみたりなります。

それから、隣の四條畷で数年前に発掘された「田原レイマン」の墓碑をみたときも衝撃を受けました。河内キリストンと飯盛城や三箇城の戦国武将たちのことは特に興味深いです。ただ「野崎觀音」が徐々に興味がわいてきました。古墳群をはじめ古い時代のこという説は私としてはよくわか

・1年間「市民学芸員講座」を受講されました。

文化財の定義などにも法的な枠組みがあるということは驚きでしたし、古代史の意外性や奥深さ。古墳ひとつからでもその社会的な背景がみえてくるということなど。それまで未熟な文化だと思っていたけど、意外にハイレベルな文化であつたり社会であつたり。

そこで、実際に文化財を手にとつたり扱い方を勉強したり、ワクワクしながら受講しました。

基礎知識を身に付けた資料館の専門スタッフです。講座のなかでは講義とともに実際に文化財資料に触れ、その扱い方や見方もあわせて学習してきました。

市民学芸員講座」を平成21年4月から1年にわたり受講し、

**大東市に  
市民学芸員  
誕生・活動中**  
今年5月から

# わたしの好きな気になるおすすめの絵馬

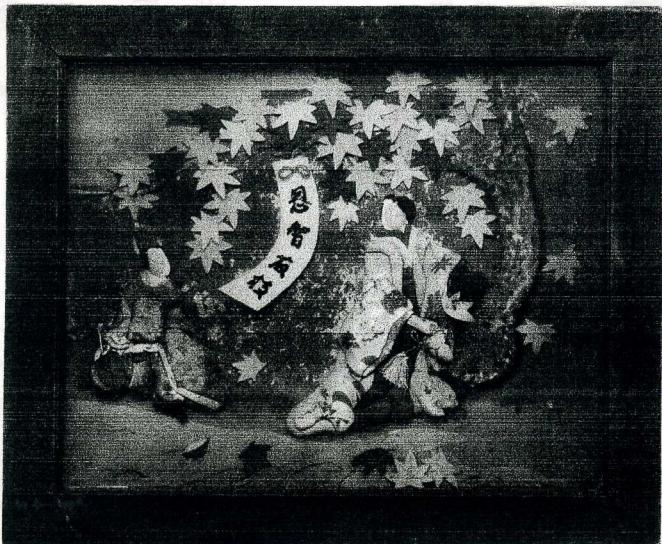
市民学芸員



絵馬は古代から続いた人々の営みの一つです。現在大東市内にも江戸末期からのが二百点近く残されています。その中には、大東にしかないと思われる珍しい図柄のものもあります。

今回の絵馬展には、四十五点の絵馬が展示されています。これらの絵馬の前で目を凝らし耳を澄ますと、遠く先人達の生活と人々の息づかいが聞こえてくるようです。

そこで、絵馬展のお手伝いをすることになった、私たち市民学芸員が「おすすめする絵馬」「気になる絵馬」として幾つかを紹介致します。



「紅葉狩」押絵 「戸隠山中の場」  
大きさ 58×47.5  
奉納年 明治22年9月 御供田八幡神社

私の旧友に山本順之氏というNHK古典芸能にも出演していた「観世流シテ方」の能役者がいます。そのような関係で、絵馬「紅葉狩」は一日見て興味がわきました。この

期に流行った押絵の手法で製作された数少ない絵馬で、地域の素晴らしい文化財です。

能楽「紅葉狩」は観世小次郎信光作の切能（五番目物）で、一日の最後に上演される曲です。切能は鬼・天狗・天

神・雷神など異界のものを扱う曲（能楽）です。粗筋は平維茂主従が信濃の戸隠山中へ鹿狩りに行き、上臍女房に化けた鬼女たちの酒宴に出会

いです。能楽「紅葉狩」は観世小次郎信光作の切能（五番目物）で、一日の最後に上演される曲です。切能は鬼・天狗・天

神・雷神など異界のものを扱う曲（能楽）です。粗筋は平維茂主従が信濃の戸隠山中へ鹿狩りに行き、上臍女房に化けた鬼女たちの酒宴に出会

上野 繁（氷野在住）

## 祈願者の真剣さにうたれる 珍しい能楽からの「紅葉狩」

それと似たような作業をやつていましたのでお役に立ります。

これからもいろいろな活動に参加し、見聞を広めたいと思います。

（前頁からつづく）  
いものを作つてみたい。昔の風景を小さな世界のなかで復原してみるとおもしろいです。

・どおりで脚立の上に慣れておいで您的でした。今後どんなことをやってみた

いですか。  
（聞き手 大西京子）

・有難うございました。  
今後ともよろしくお

願いいたします。  
（聞き手 大西京子）

そこで、手伝いをすることが出来た、私たち市民学芸員が「おすすめする絵馬」「気になる絵馬」として幾つかを紹介致します。

「紅葉狩」押絵 「戸隠山中の場」  
大きさ 58×47.5  
奉納年 明治22年9月 御供田八幡神社

い、辞退するも誘われて幾杯を重ねて酔い伏せる。本性を顕した鬼女たちに襲われる寸前に、八幡神のお告げを受け、目覚めて鬼女たちを退治する、一時間二十分の能楽です。

謡曲上達の祈願でしょうか。八幡神の神威が示されている絵馬を八幡神社に奉納した事柄も、祈願者の真剣さが伺えます。

「市民学芸員REPORT」の第1号・創刊号をお届けします。市の「資料館」の活動をお手伝いしながら、市民の目線で紹介し、自分たち自身の互いの励みの場にもなればと思います。次号は来年四月を予定しています。

大東市立歴史民俗資料館  
市民学芸員REPORT  
第1号です

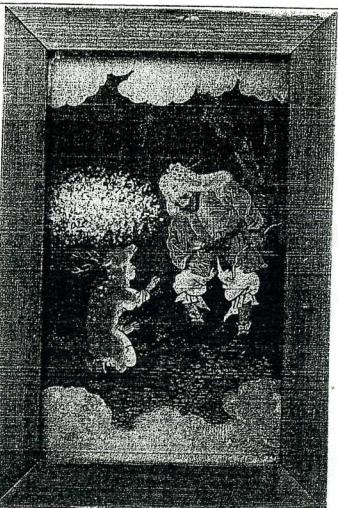
今号の編集スタッフ

責任者 中西 昭治

松井 健一

事務局 大西 京子

水永八十生



二十四孝の内、刻子 坐摩神社  
大きさ 30・5×45・5  
奉納年 不明

刻子とは中国で古今の孝子二十四人を選定した中の一人。  
(書物によつては多少の違いあり)

彼の年老いた両親は両眼を煩い目薬になると云つて鹿の乳を望んだ。そこで、彼は鹿の乳を得るために鹿の皮を着て鹿の群れの中に紛れ込もうとした。

ところが彼を見た獵人は本当の鹿だと思い弓で射ようとした。びっくりした彼は「私は本当の鹿ではありません」と叫んで、その理由を獵人に話してやつと許された。これも日頃の孝行のため助かつたといふ。

二十四孝の内、刻子 (川中新町在住)

### 親孝行にあやかりたい

## わたしの おすすめの・好きな絵馬

市民学芸員

### 歌に秀でた人を描いて 和歌向上祈願図

上野 繁 (氷野在住)



和歌向上祈願図 南條神社 奉納年 明治2年6月 大きさ 33・4×24・7

大阪の住吉大社・明石の柿本神社・和歌山の玉津島神社が昔から「和歌三神」とよばれている。能楽「雨月」では、西行法師が住吉詣での途中に住吉明神が現れ、和歌の極意について語る場面がある。

一般には三十六歌仙など歌に秀でた人を絵馬に描き奉納して、和歌向上祈願をすることが多い。



心道の絵図 (部分) 御供田八幡神社  
大きさ 93×68 奉納年は不明

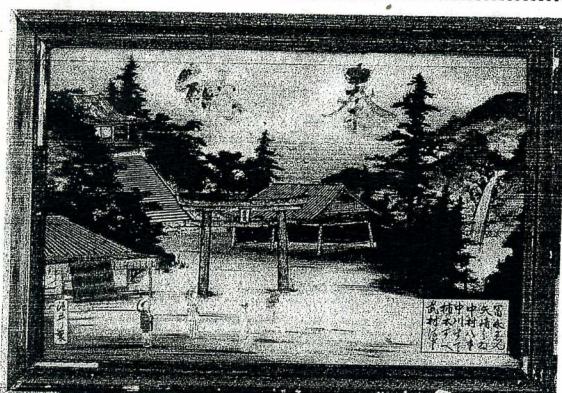
### 善惡の価値観を 絵解き風に

#### 心道の絵図

八十生 (平野屋在住)

中央に「心道辻」の道標が立ち、その右側には「道横行人ばち當」、左は「道まつすぐ行人福當」とあり、奉納当時の社会の価値観が具体例で描かれている教訓的なものは珍しい。

罰が当たることを三昧線のバチが当たり、福がくることを天界から小判が降つてくる絵柄にしたりと善惡の教えを絵解き風にし当時の人々に広めようとしたものである。



須瀬大明神境内図 須波麻神社  
大きさ 104.3×74.3 奉納年 明治43年10月

### 当時の写真を上回る 繊細なガラス絵

須瀬大明神境内 国

当絵馬はガラスに描かれたもので、螺

鉢技法風に描いた階段・石垣は見事なものである。また、屋根瓦、樹木の繊細な描写は当時の写真技術を上回る程の描かれかただ。

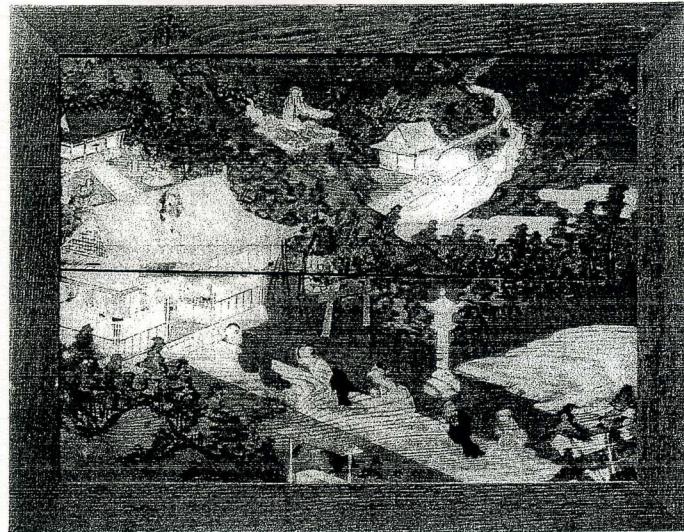
ガラス絵とは、ガラス板に絵を描き裏から見る。普通の絵とは仕上がりが逆で、仕上げの部分から先に描き始める。

十八世紀から十九世紀に西欧で広まり、中国を通じ日本へ入り、明治末期に日本でも板ガラスが生産されると、絵が外気に触れないため色鮮やかさが維持できるので、当時の女性の好み圖に好まれた。

螺鉢技法とは、オウム貝、夜光貝、鮑貝、蝶貝などの真珠光を放つ部分を薄片にして、漆器・木地にはめ込んで装飾するものだ。

日本には奈良時代に唐から伝わった技法で、正倉院に多数所蔵されている。

きる、当時の水車の姿をしたのかも、とも想像で花ざかり、と「野崎小唄」になつた菜種を粉碎する



「鎮火お礼参りの図」 大谷神社  
大きさ 76・6×59 奉納年 明治16年1月吉日

普通なら見過ぎですか  
ろう「絵馬」。今回その多くを目にします。多種多様。神社と氏子との結縁を深く感じる。中でも我

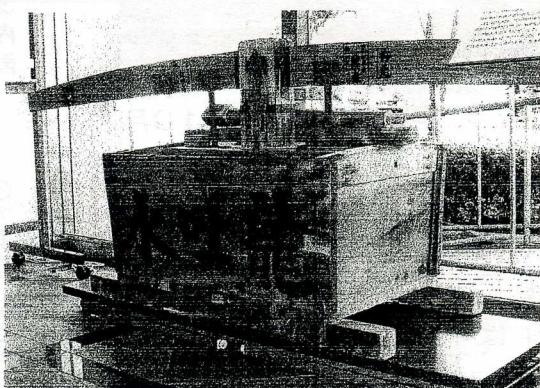
市の近い昔、(明治十六代である。

### 明治末期まで活躍 オランダからの 「水鉄砲」龍吐水

高見 庸子 (太子田在住)

江戸後期から明治まで活躍していた消火用具「龍吐水」。近年まで出初め式には出動していました。大東市消防本部の1階に陳列してあります。

### 昔の消防事情



元旦早朝までに鎮火。氏神のご利益のおかげと、お札に、絵馬「鎮火お礼参りの図」が奉納されました。

## 気になる 水車と「池」の存在

「寺川火災の図」  
[鎮火お礼参りの図]

西本 重利 (三箇在住)

描いたものとして貴重です。  
火災の場合、当時で一番頼りとされていたのが

龍吐水(水鉄砲)といわれるもので、オランダより渡来したとも、長崎のオランダ人が発明したともいわれています。江戸時代後期より明治末期頃まで使われ、当地では水運を利用して田舟に乗せていましたが、使用に

は大勢の人力による水箱への貯水が必要でした。  
寺川の火災の場合、「寺川火災の図」の中に描かれていて、消防活動の際使われたかも知れない「池」もしくは「堀」が実際にあつたかどうかです。あつたとしたらどの辺にあつたのでしょうか。

明治初期の地図も探して取り寄せ、確認しようとせず、地図の読み方も拙い私にとっては力不足で心残りなりません。一枚の絵馬もじつと眺めていると、いろんなことが想像され、知りたくなり、楽しいですね。

## わたしの気になる絵馬

寺川火災の図  
[鎮火お礼参りの図]  
大谷神社

想像してみよう。  
明治初期の山里の風景を。

野放図に茂った草木、森、山蔭に見える社寺の瓦屋根。土蔵造りの酒蔵。庄家宅の他はほとんどが草葺き屋根の土間と二間ほどの板敷き家居。

油の火がゆれ、一旦出火すればどのように対応したのであろうか。

ドンゴロスや棒で叩き消す。延焼を免れるように窓口で打ち壊すしかなかつた。他に道具として梯子、指叉、水籠、くまで、うちわ等が利用されたようだ。中でも最たる利器が龍吐水(水鉄砲)である。

中央に雲に乗った神様が描かれ、その下側には川から引かれた水を、上からかけて回す水車があります。この水車は、後に、どこ向いても菜の花ざかり、と「野崎小唄」になつた菜種を粉碎する

您的文章内容非常丰富，但有些部分非常长且包含大量信息，我将尝试将其简化并重新组织为更易读的段落。

双方14人の死闘

## 「最後の仇討」事件の絵馬を奉納

「不動坂 赤穂浪士仇討の図」

中西 昭治（諸福在住）

高野山はすぐそこという不動坂で、双方七人づつが入り乱れての「仇討事件」がありました。実際にこの仇討がきっかけで二年後の明治六年に仇討禁止令が出、これが「日本最後」といわれる仇討となりました。北條神社に奉納されている絵馬、「不動坂・赤穂浪士仇討の図」はこの事件を描いたものです。

幕末の公武合体派と尊王攘夷派の対立、それに跡目相続のいざこざが複雑にからんで、赤穂藩の家老などが暗殺されました。文久二年のことでした。その九年後、その親族七人が、逃げる殺した側の七人を追い、殺傷禁止の高野山に逃げ込まないうちに討とうと、高野街道・不動坂で待ち伏せ

その事件の絵馬が、早くも一ヶ月後に奉納されても有名な英雄同士の戦いならともかく、特に名もない武士どうしの殺傷

して本懐を遂げました。挙げた首級を並べたといふ岩の近くに、討たれた七人のお墓が杉林の中にひっそりと並んで建っています。

この事件の絵馬が、氏神様にどんな思いを込めて奉納されたのです。



北條神社の「不動坂 赤穂浪士仇討図」（部分）  
絵馬の大きさは 90×42 双方7人づつが入り乱れて闘っている図で、それぞれの人の名前がはいっている。

ました。遠く離れてはいる東高野街道筋で起こった「快挙」に共感したからでしょうか。忠臣蔵、

不動坂にねむる「日本最後の仇討」で討たれた7人の墓

されたのでしょうか。

「絵馬」というタイムラプセルを前に思いは尽きません。

火急の場合は天秤式で運んで現場に急行し、水箱の中に水を満たし、木筒から空気圧にて押し上げる仕組み。ホースは木栓で四角、筒先は丸穴になっている。四十五度角度で10mほど放水できる。

当地には多い水路を利用、使用には大勢の人力にて水箱に水を満たし続ける必要があった。

ここで、江戸時代の文書から一文を紹介する。

「出火之レ有リ候工バ何レモ早速馳ケ付ケ郷藏囲ヒ申スベク候」とある。火災発生時には、年貢米の確保を優先したようだ。やがて、明治二十七年二月、消防組規則が公布され、官制消防の時代へと入っていった。

これまでの「鎮火お札参りの図」「寺川火災の図」についての記述は、大東市史、大東市消防本部の「龍吐水」説明板などを参考にさせていただきました。

# 民学芸員

## 馬の借用・運び出し



宮司さん、氏子さんと、  
絵馬をお借りするため  
の事前のお願い、打ち  
合わせ。

北條神社での場合  
(7月10日)



▶ 百年以上前の奉納されたままの姿の絵馬を  
釘・留め金を外し、あたりに細かい埃が舞う  
なかで、数人がかりで下ろす作業。

8月31日 寺川5丁目 大谷神社。  
「楠公父子桜井駅別離の図」



▼ 「奔馬の図」(市内の絵馬でも大  
きいほうの208. 8×123. 6)を  
お借りしている市民学芸員。

8月30日 諸福1丁目 諸福天満宮



▲ 素盞鳴神社(灰塚3丁目)では「天  
の岩戸開き図」などをお借りしました。

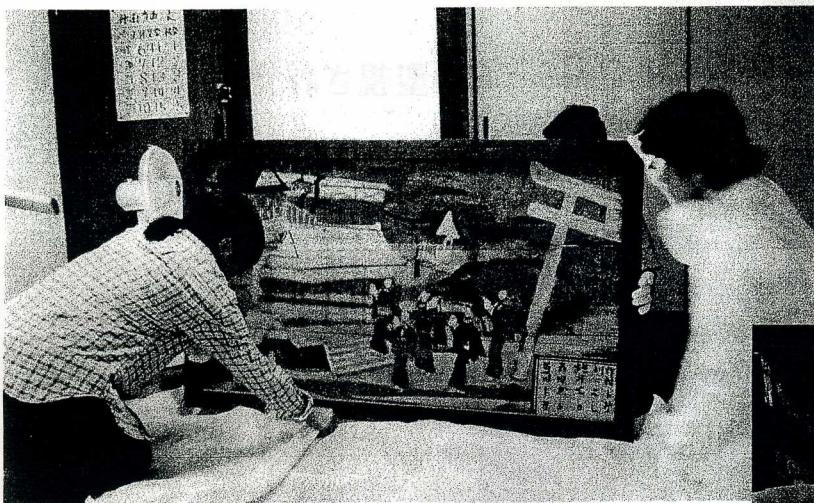
7月30日

氏子の皆さん  
有難う  
ございました



**大活躍！**

## 絵馬のクリーニング

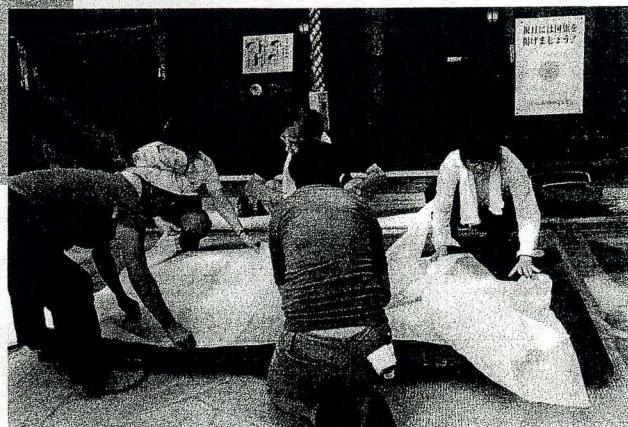


▲ 鴨居などから降ろされた絵馬を自動車で運ぶため丁寧に包装する。

上の写真の絵馬は「寺川火災の図」

寺川5丁目 大谷神社

►右は諸福1丁目 諸福天満宮にて



お預かりした絵馬を、注意深く埃を払い、レーヨン紙を当てて、その上から水を含ませた綿で叩いて、画面の埃を除く。絵馬の画面がクリアに生まれ変わる。



12月1日の展示まで、各絵馬の「説明札」の製作・取り付け、配置計画による館内の展示作業。会期中には来館者のご案内などをさせていただきます。  
会場でお会いしましょう。

## 今も備中神楽の人気演目



八岐大蛇退治図 素盞鳴神社  
大きさ 73.6×99.3 奉納 明治12年

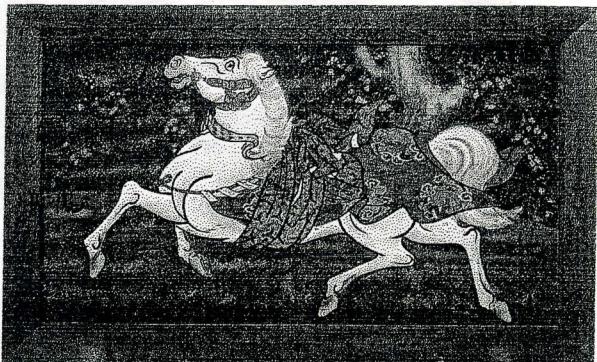
中西 昭治（諸福在住）

八岐大蛇退治図

私の故郷の岡山県高梁市では郷土芸能としての「備中神楽」が盛んで、この「大蛇退治」や、素盞鳴尊の子孫である大国主命の、出雲の国の「国譲り」、そして「天の岩戸開き」が特に喜ばれ、秋の山里に夜通しどこかで太鼓の音が聞こえています。

天上で大暴れをして追放になった素盞鳴尊が、出雲の国で嘆き悲しんでいる老夫婦に出会いました。娘が八岐大蛇に喰われてしまうというのです。素盞鳴尊はその櫛名田比売を妻にするのを条件に、八つの頭と八つの尾を持ち、体に桧や杉が茂るといふその大蛇を退治します。

## わたしの好きな・おすすめの絵馬



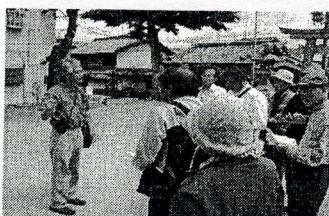
奔馬の図 諸福天満宮 奉納者 不明  
大きさ 208.8×123.6  
奉納 明治13年10月

絵馬の始まりは、馬を奉納することができない代わりに、馬の絵を書いて奉納したものと伝えられています。絵馬に書かれている白い馬は、しんめ、しんば、かみうま、などといわれて、神が人間世界にやってくるときの乗り物として、神聖視された馬です。

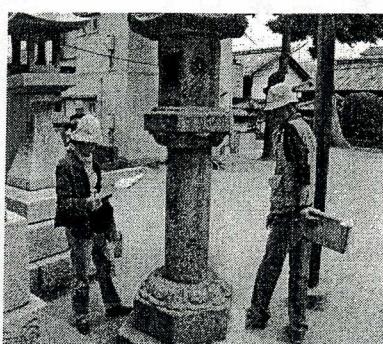
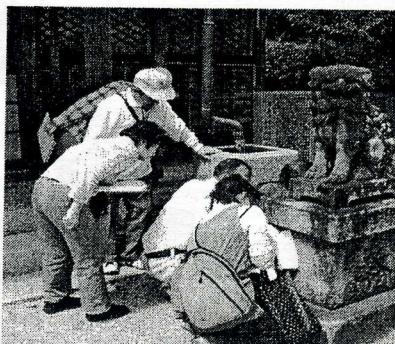
## 市民学芸員 最初の仕事は石造物調査

神社に奉納された石造物の配置、奉納年、奉納者、特徴等を観察し、記録しました。確認できた石造物のなかで、最も古い紀年銘をもつものは、燈籠が大谷神社のもので寛永二十年(1643)、狛犬が北條神社のもので明和九年(1772)、鳥居が諸福天満宮のもので天和二年(1682)、手水鉢が坐摩神社のもので安永六年(1777)などでした。

屋外調査のあとは報告会を行います。  
：石造物が前よりもっと身近な存在になりました。



絵馬調査の前に石造物の調査もしました。古そうに見えて実は新しかったり、またその逆だったり…さまざまな発見がありました。



# 御領の豆狸

私の暮らしている氷野近辺のお話

松井 健一（氷野在住）

近年、猿や狸が里山から食料を求める家の近くまで出没するところが目撃されていますが、私たちが暮らしている大東市には、狸とか狐を主人公にした昔話がたくさん残っています。

「かちかち山」など、昔話を聞きながら眠りについたことを記憶しています。

木が繁り、屋でも薄暗く、一人でそこを通るのは、うす気味悪かった経験を持つ古者は多い。これは、その辺りが開発されていない当時の話です。

昔、水野ムラから御領ムラ

に出る辺りは、三年坂と呼ばれます。うつそうとした森があつた。その森の片隅に、ムラ人

から忘れられた明神さんの小さな祠があつた。そこに豆狸

が一匹住みついていた。夜行性の彼は、日が暮れると、人恋しさにその坂道に出てくる。

暗い夜道をこわごわ歩いて

いる人がいると、ちよつかいを出し、同じ所をぐるぐると

何回も歩かせたりする。噂は広がり、ムラ人は、夜この道を通らなくなってしまった。

ある夜、急ぎの用が出来て



## 大東市にもたくさん昔話がある

先を見ると、ボーッと提燈の明かりが見えた。明かりは動きだして近寄って来た。よく

私は中学を卒業して五十五年过去了。今日は市民学芸員としての勉強が始まります。いろんな講座をしますが、ここではそれを始めたばかりをしていました。そしてリタ

てあります。

「今日から市民学芸員としての勉強が始まります。いろんな講座をしますが、ここではそれを始めたばかりをしていました。と

いう話も伝わっている。

（大東市 文化財ガイドブック II 大東の伝承文化）より

## 私も市民学芸員です



「市民学芸員募集」でした。

あれから二年近くなりました。

「市民学芸員」は近隣の市でも

初めての試みで、素人相手で運

守口に行つた「平さん、帰り

道、再びここを通りかかった。

「暗いなあ、足元も見えんわあ」と咳きながら、ひょっと森の

そちらに向つて頂いて結構です」

（S・N）

今号の投稿者・執筆者  
こんな人

頁の順番に

★上野繁さん 水野老人クラブ会長 ★岡島怜子さん 焼

き物と古代史にハマつていま

す ★水永八十生さん 大東市住人になって十一年目です

★氏原稔夫さん 知れば知るほど大東はいいところ ★西

本重利さん いつも奥さんの常美さんが共にあり、リハビリ療養中 ★高見庸子さん

仕事をやめ、いま自由を自分で楽しむ毎日です ★橋本

醇子さん 登山も次第に近場になつてきています ★中西

昭治さん 寝込みないうちにと熊野古道歩きに精進中 ★

松井健一さん 半年かけて西国三十三所を巡りました ★

大西京子さん 旅に出たい！

# 神社奉納の大絵馬 四十五点を一堂に

## 12月1日~23日 市立歴史民俗資料館にて

大谷神社	寺川五丁目
御供田八幡神社	御供田二丁目
御領菅原神社	御領三丁目
坐摩神社	平野屋一丁目
山王宮大神社	新田東本町
素盞鳴神社	灰塚三丁目
須波麻神社	中垣内二丁目
太子田大神社	太子田二丁目
深野北菅原神社	野崎一丁目
南條神社	深野北一丁目
北條神社	北條五丁目
諸福天満宮	諸福一丁目

今回の展示品は市内の上記の神社に奉納されてあるものをお借りしたもので

ど猛暑の連続であった。そ  
のはしりに初夏と言うより  
蒸す最中、寺川の大谷神社  
などに私たち市民学芸員は  
手分けして出向いた。それ  
まで神社の絵馬は、受験期  
の祈願ぐらいの認識しかもつ  
ていなかつたが、氏子さん  
から当時の世相状況が映し  
出されていると聞き、初めて  
絵馬に込めた、祈願の奥  
深さの一端を知ることがで  
きました。

今年は異常とも言えるほど猛暑の連続であった。そのはしりに初夏と言うより蒸す最中、寺川の大谷神社などに私たち市民学芸員は手分けして出向いた。それまで神社の絵馬は、受験期の祈願ぐらいの認識しかもつていなかつたが、氏子さんから当時の世相状況が映し出されていると聞き、初めて絵馬に込めた、祈願の奥深さの一端を知ることができました。

この種の展示は、今後お集られた、貴重な記念冊子を拝見したが、先祖・先輩の残した絵馬を大事にし、またその保存の苦労がしのばれた。



会期 12月1日(水)~12月23日(木・祝)  
12月6日・20日は休館  
場所 大東市立歴史民俗資料館  
(サーティーホールのある建物の1階)  
入場は無料です

（緑が丘在住）  
氏原 稔夫

な、氏子さんたちが編集された、貴重な記念冊子を拝見したが、先祖・先輩の残した絵馬を大事にし、またその保存の苦労がしのばれた。

▼一緒にやりましょうと言ったのはいいけれどどうなるのかな・・そんな不安がいつさい消えたのは編集会議を始めてすぐ。スタッフの行動力と探究心に敬服です。大西京子 ▼文章を書くのがとても苦手でしたが、地域の歴史・文化にふれることでタイムトンネルの入り口を一步踏み込むことができ、少し得した感じです。松井健一 ▼絵馬が奉納されていた時代は、家々や町中にまだまだたくさんの神や仏がいたことがよくわかる。「お勧めの絵馬」コーナーで伝えられたら幸いです。水永八十生 ▼このところ説話と史実、神と天皇、双方の間を遊んでいます。さすが「資料館」の皆さん事実追求のプロですね。固い頭をほぐして頂いています。中西昭治

## 編集後記